

2022年3月5日（土）～6日（日）2022パラ水泳春季記録会における  
マデイラ 2022WPS 世界選手権大会 知的障害クラス日本代表選手の決定

標記について、下記のとおり決定いたしましたので、お知らせいたします。

選考の結果、日本代表選手は男子3名、女子3名の計6名とし、選手氏名は以下のとおりです。

\*身体障がい選手の日本代表選手は、一般社団法人日本パラ水泳連盟が選考・発表いたします。

1. 東京2020パラリンピック競技大会でのメダル獲得種目に出場したことにより、日本代表選手に決定した選手

【男子：1名】

選手名前	所属	該当種目
山口 尚秀	四国ガス	100m 平泳ぎ SB14

2. 当連盟の定める派遣標準記録を突破したことにより、日本代表選手に決定した選手

【男子：2名、女子：2名】

選手名前	所属	該当種目
山口 尚秀	四国ガス	100m バタフライ S14、200m 個人メドレー SM14 ただし、上記1. にて決定済み
芹澤美希香	宮前ドルフィン	100m 平泳ぎ SB14
福井 香澄	滋賀友泳会	100m 背泳ぎ S14 ※
松田 天空	GAGANI	100m バタフライ S14

※申請により、第38回日本パラ水泳選手権の記録にて選考

3. リレー代表選考により、日本代表選手に決定した選手

【男子：2名、女子：2名】

選手名前	所属	該当種目
山口 尚秀	四国ガス	100m 自由形 S14
蓮野 巧人	新潟水泳協会	100m 自由形 S14
井上 舞美	イトマン大津	100m 自由形 S14 ※
福井 香澄	滋賀友泳会	100m 自由形 S14 ※

※申請により、第38回日本パラ水泳選手権の記録にて選考

#### 4. 不服申立てについて

本選考結果について、不服申立てを行う場合は、2022年3月20日まで（本発表より2週間以内）に登録団体責任者等を経由して当事者本人より理由を記載した書面と審査費用3万円を添えて、日本知的障害者水泳連盟理事長宛に提出することで、不服申立てを行うことができます。

不服申立てがあった場合は、不服審査会を設定し審査を行います。不服審査会には、当事者本人、親権者、登録団体責任者が出席し、意見を述べることができます。不服申立てが認められた場合は、審査費用は返還されるものとします。

また、公益財団法人日本スポーツ仲裁機構が仲裁する範囲の不服申立ては、スポーツ仲裁規則に従ってなされる仲裁により解決されるものとします。

以上